

2010年3月30日

「日本の ODA を変える会」

第 2 回会合プログラム

- 18:30～18:40 第 1 回会合の総括、今後の進め方 小嶋雅彦、大野泉
- 18:40～19:10 「民」主導の国際協力、多様な関係者との連携にむけた提言」
【キックオフご発言】
- ・ 藤田幸久氏 民主党国際局長/参議院議員
——NGO の参画、ODA 政策再編の方向性
 - ・ 佐藤寛氏 JETRO 貿易開発部 上席主任調査研究員
——BOP ビジネス、新たな連携のあり方
- 19:10～20:20 意見交換
- 20:20～20:30 まとめ

本会合のねらい

・マルチステークホルダー(政、産、官、学、NGO、マスコミ等)の有志により、国際協力の「現場の視点」や「国民の視点」から、新しい時代の日本の ODA のあり方を見直し発信する場をつくる。

・何のための ODA か、国民の理解と支持を得るには何が必要か、真に途上国に貢献するための方策は何か、国際社会をリードするために今何をすべきか、等の観点から、次のテーマを中心に、各界から話題提供していただき、具体的な議論を行う。

- ① 援助理念と戦略(何のために援助するのか、国民視点での説明責任)
- ② そのための重点開発アジェンダ、イシュー
- ③ そのための体制(「四層」のあり方、予算、法制度、シンクタンク機能等)、及び実施方法
(NGO・企業・コンサルタント・大学等との新たな関係構築、新興国との連携のあり方等)

・民主党政権のもと、「300日プラン」の中で外務省が取組んでいる ODA の見直し作業にインプットすべく、4～5月までに会合を数回開催。可能であれば、「提言」を取りまとめる。

・「ODA マニフェスト」(2007年10月策定)後に達成できたこと、残る課題についても留意しつつ議論する。

本会合のウェブサイト: <http://www.grips.ac.jp/forum/2010/ODAMT10/oda2.htm>

事務局: GRIPS 開発フォーラム